

【 狛江市 】 胃がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胃部X線検査）	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	男性35～39歳、女性30～39歳
左記以外の検査の実施	していない

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	20,421	22,502	42,923
【東京都調査による対象者率(市町村部): 57.8%】			
実際の受診者数	479	651	1,130

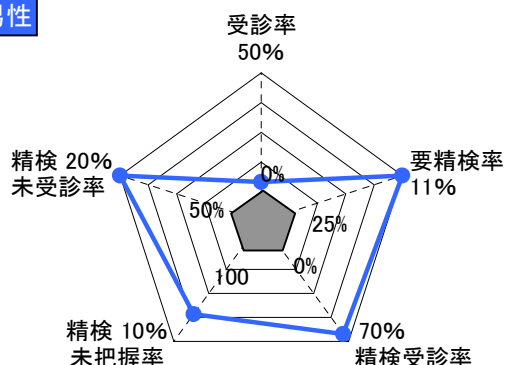
<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	していない
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

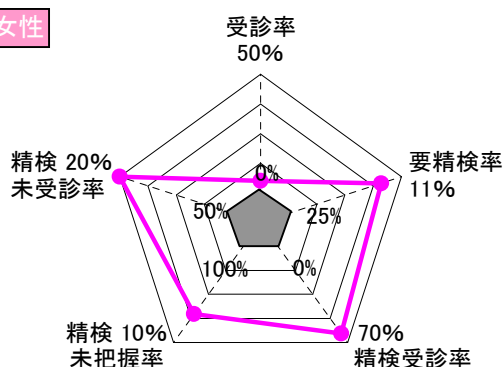
<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	4.1%	5.0%	4.6%
要精検率	11%以下	10.0%	13.5%	12.0%
精検受診率	70%以上	64.6%	63.6%	64.0%
精検未把握率	10%以下	35.4%	36.4%	36.0%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.0%以上	0.0%	0.0%	0.0%
がん発見率	0.11%以上	0.00%	0.00%	0.00%

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考に問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

【 狛江市 】 肺がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく肺がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胸部X線検査及び喀痰細胞診）	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	男性35～39歳、女性30～39歳
左記以外の検査の実施	していない

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	20,421	22,502	42,923
【東京都調査による対象者率(市町村部)：64.5%】			
実際の受診者数	558	782	1,340

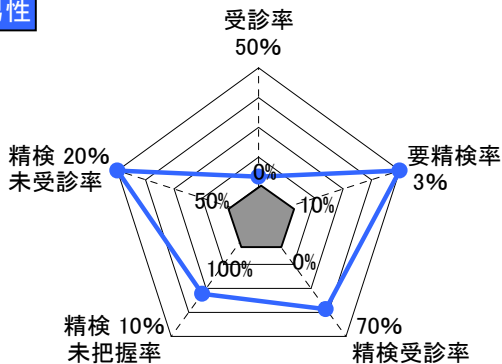
<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	していない
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

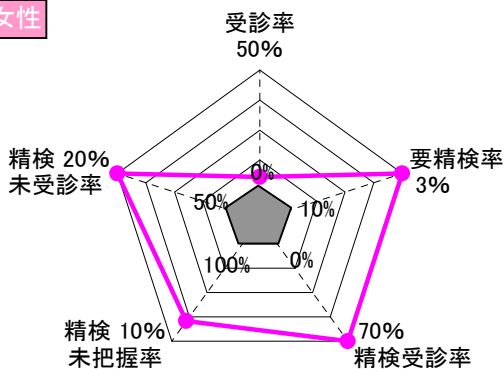
<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	4.2%	5.4%	4.8%
要精検率	3%以下	1.4%	0.9%	1.1%
精検受診率	70%以上	50.0%	71.4%	60.0%
精検未把握率	10%以下	50.0%	28.6%	40.0%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.3%以上	0.0%	0.0%	0.0%
がん発見率	0.03%以上	0.00%	0.00%	0.00%

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

【 狛江市 】 大腸がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（便潜血検査（二日法））	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	男性35～39歳、女性30～39歳
左記以外の検査の実施	していない

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	20,421	22,502	42,923
【東京都調査による対象者率（市町村部）：62.0%】			
実際の受診者数	735	1,131	1,866

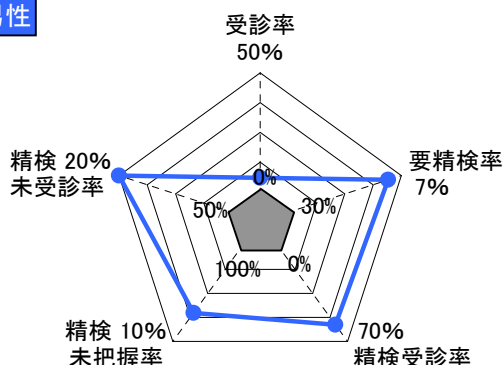
<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	していない
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	一部該当

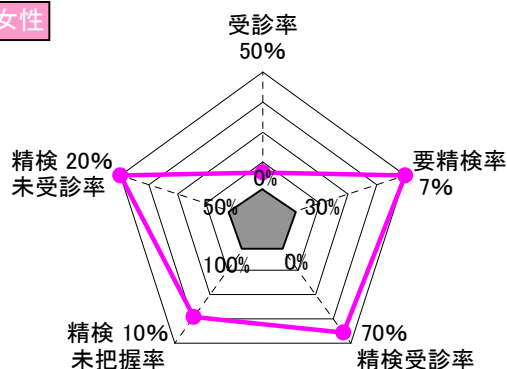
<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	5.8%	8.1%	7.0%
要精検率	7%以下	9.7%	5.7%	7.2%
精検受診率	70%以上	57.7%	62.5%	60.0%
精検未把握率	10%以下	36.6%	34.4%	35.6%
精検未受診率	20%以下	5.6%	3.1%	4.4%
陽性反応適中度	1.9%以上	2.8%	3.1%	3.0%
がん発見率	0.13%以上	0.27%	0.18%	0.21%

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考に問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

【 狛江市 】 子宮頸がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

対象年齢（20歳以上：隔年）	している
検査方法（細胞診）	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		33,112	
【東京都調査による対象者率(市町村部)：67.1%】			
実際の受診者数		2,880	

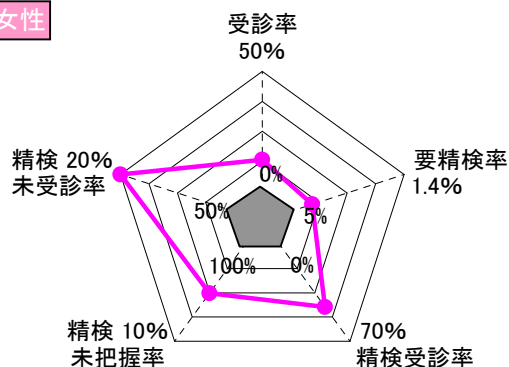
<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	していない
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		13.0%	
要精検率	1.4%以下		4.3%	
精検受診率	70%以上		45.2%	
精検未把握率	10%以下		54.8%	
精検未受診率	20%以下		0.0%	
陽性反応適中度	4.0%以上		1.6%	
がん発見率	0.05%以上		0.07%	

女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんでなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考に問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。

【 狛江市 】 乳がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

＜国の指針に基づく乳がん検診の実施状況＞

対象年齢（40歳以上：隔年）	している
検査方法（視触診及びマンモグラフィ）	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況＞

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

＜住民の検診受診状況＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		22,502	
【東京都調査による対象者率(市町村部)：73.1%】			
実際の受診者数		2,033	

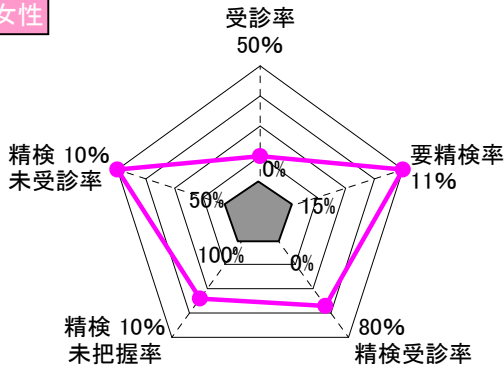
＜区市町村の受診率向上(精検含む)体制＞

対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	していない
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

＜がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)＞

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		12.4%	
要精検率	11%以下		4.9%	
精検受診率	80%以上		54.0%	
精検未把握率	10%以下		46.0%	
精検未受診率	10%以下		0.0%	
陽性反応適中度	2.5%以上		6.0%	
がん発見率	0.23%以上		0.30%	

女性



【評価結果】

＜受診率＞

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。

＜精検受診率＞

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

＜精検未把握率＞

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にし問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。